

ピタットベース[®] PAT.

取扱説明書

施工方法

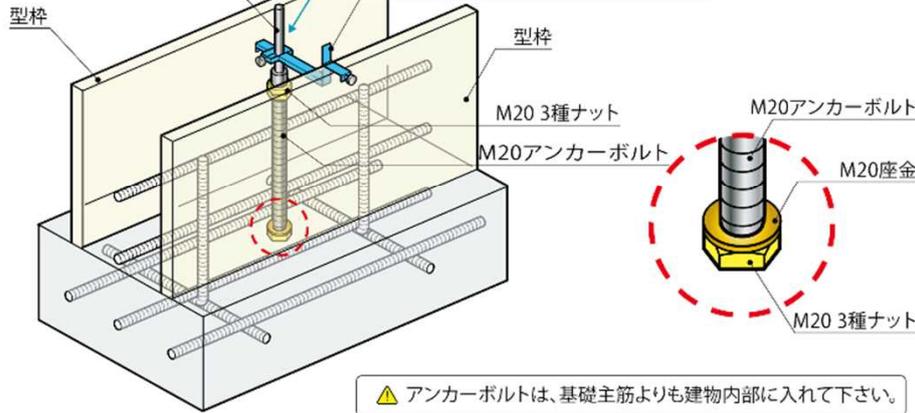
1 アンカーボルト設置

※注意: アンカーボルトM20をコンクリート天端より60mm出るように設置して下さい。

PB用アンカーボルト吊下げボルト M16-20

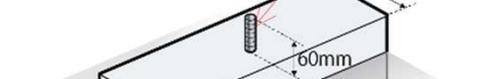
アンカー吊下ボルトを使用

PB用アンカーボルト吊下げ治具 (市販品)



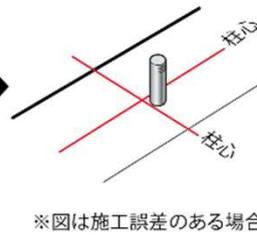
※注意: M20

2 基礎立上りコンクリート打設



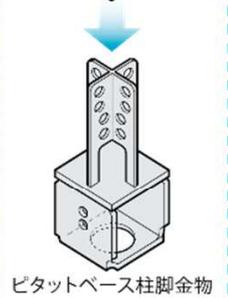
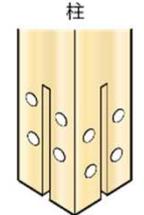
コンクリート天端仕上げは、セルフレベリングをお願いします。

3 墨出し

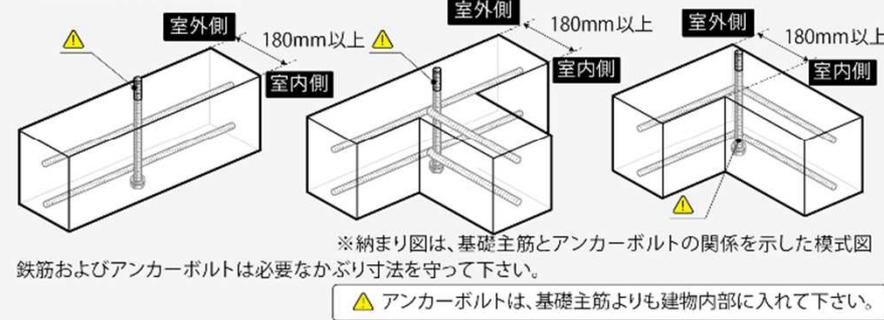


4 ピタットベース柱脚金物と柱を接合

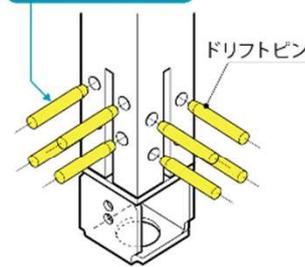
※柱のスリット・孔寸法は標準図をご参照下さい。



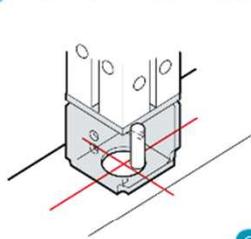
■ 配筋注意事項 納まり図



ドリフトピン8本使用



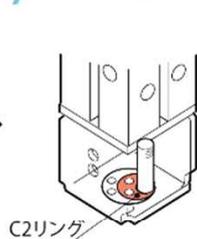
5 柱脚金物を墨に合わせて設置



6 C1リング挿入



7 C2リング挿入



8 Q1座金設置



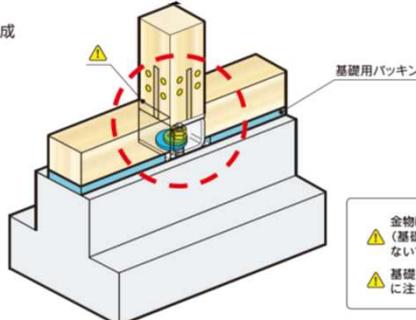
9 Q2座金設置



10 M20ナット取付



Finish 完成



使用工具

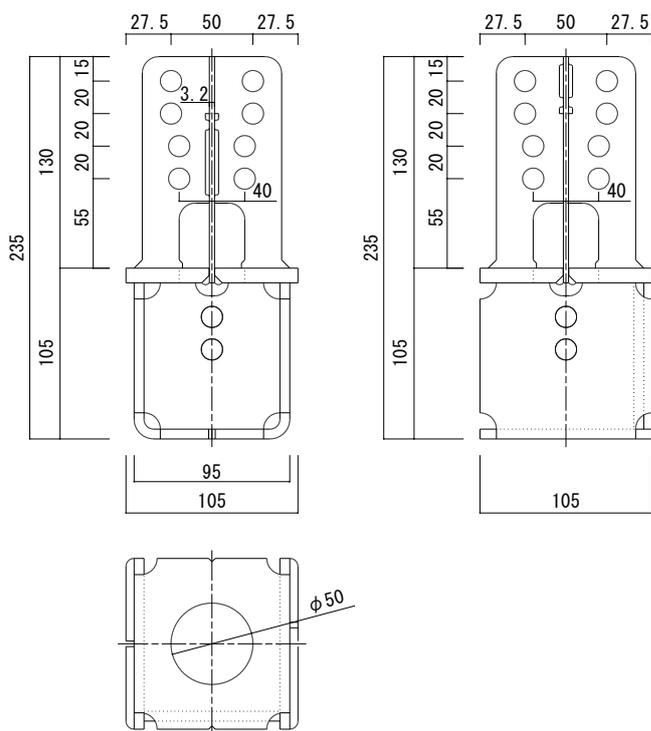
- ハンマー
- M20メガネレンチ (二面幅30mm)

施工のポイント

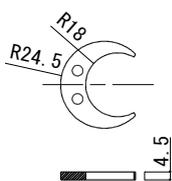
- ・アンカーボルトはコンクリート打設時等に動かないようにしっかり固定してください。
- ・アンカーボルトの基礎仕上げからの突出寸法は+60mmです。
- ・ネジ部はコンクリート付着を防止するために養生してください。
- ・柱脚金物を設置する基礎の天端は、平滑に仕上げてください。
- ・基礎天端のレベルの管理を十分に行なってください。
- ・コンクリート打設後、ネジ部の周囲に付着したノロを除去してください。ノロがあると、C2リングが入らなくなったり、Q1座金が浮き上がってしまいます。

梱包内容

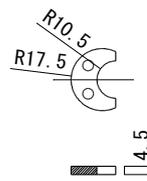
ピタットベース柱脚金物



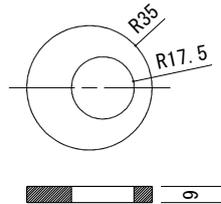
C1リング



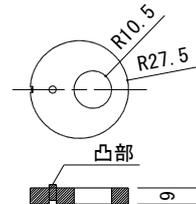
C2リング



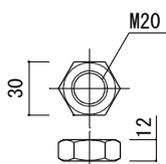
Q1座金



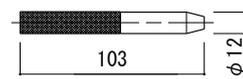
Q2座金



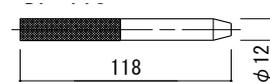
M20ナット



ドリフトピン (105用)



ドリフトピン (120用)



使用上の注意

- 必ず付属のリング、座金、ドリフトピンを用い、所定の数量で所定の位置に接合して下さい。
- 柱脚金物がドリフトピンの長さの中央に位置するように施工して下さい。
- ドリフトピンの穴をふかして使用しないで下さい。
- ドリフトピンの打込みによって木材に割れが生じた場合、木材を取り替えて下さい。
- 接合、締め付け工具類は、適切なものをご使用下さい。
- 本製品はコンクリート基礎の上に直接設置して下さい。
- 現場で防腐・防蟻処理を行う場合は、金物に薬剤が付着しないように注意して下さい。(金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。)
- 投げたり、ハンマーで叩くなど、乱暴に扱えば破損や変形の恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないで下さい。

・上記内容は予告なく変更する場合があります。

【お問い合わせ先】

営業支援部

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2

TEL.03(3624)5401 FAX.03(3624)5154

<https://www.okabe.co.jp/mokuzo/pitattobase/>



岡部株式会社

okabe